

里山の生活体験教室【西条市】

大保木で里山の生活体験教室

◆活動の目的・理念 過疎に負けない村づくり

- 地域の環境を生かした体験活動の実施
- 若者と地域住民との交流
- 地域住民の活力、地域のにぎわい創出

活動場所	大保木公民館他		対象学校区名	西条市内全域の高校・中・小学生 新居浜市内の一部の高校生	子どもの平均 参加人数	12 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	5 日	10 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	6 日	土曜教育活動 推進員のべ人数
	日・休業日等	1 日	10 : 00 ~ 12 : 00			
参加者募集	各高校を訪問してチラシを配布 行事はその都度募集		連携・協力 機関・団体	公民館・地域住民・西条自然学校・石鎚ふれあいの里・自治会 他		

取組の概要

<主な取組内容> 山の体験プログラムを6回実施しました。

- よもぎ蒸しパン作りと今後の体験教室について
開催予定の各体験教室の説明を行いました。春に摘んだよもぎを生地に、手づくりのあんこを入れながら蓬蒸しパンを作りました。
- かかしづくり体験
不要になった衣類の中に新聞を入れて、かかしを作りました。
- 薪割りと薪を使ったご飯づくり体験
木について解説を受けながら、斧を持って薪を割り、山仕事を体験しました。昼食には割った薪を使い、羽釜でご飯を炊きました。
- かずらで鍋敷き作り体験
大保木の山で採れたツルを編んで、鍋敷きを作りました。
- 竹取物語 ～竹で食器づくり体験～
大保木の裏山の竹を伐採し、その竹から器や箸を作りました。出来上がった食器を使い、お昼にシン鍋とシン肉のBBQを食べました。
- 春の七草会と餅つき体験
地域の方が摘んでくださった七草を入れたお粥を食べ、杵と臼を使い餅つきを行いました。



(薪割りと薪を使ったご飯づくり体験)
地元の方に教えと協力を得ながら、初めての薪割りに挑戦しました。



(竹取物語 ～竹で食器づくり体験～)
一緒に竹を伐る作業を行い、一人ひとりがのこぎりでマイ食器を作りました。

生徒の感想

- ・ 普段の生活では体験できないことができていいと思います。
- ・ 地域の方と交流しながら文化に触れられるのは、ここならではの活動で素敵だと感じています。

<特色ある取組>

●かかしづくり体験

地域の方々と交流しながら、順番に一つ一つ身体を作っていきます。新聞紙を細長く丸めたものを合わせて腕や胴をつくり、服を着せていきます。毛糸で髪の毛をつけたり、ボタンで目を付けたりして表情豊かなかかしたちができます。人口の減った村にかかし人口を増やして、賑わいができました。



作り方を習い、まるで人がいるような立派なかかしたちが完成しました。

事業を実施して

【成果】

- 高校生など若い世代が山に来ることによって、地元の方々の元気と生きがいにつながった。
- 大保木に関心を持つきっかけとなり、楽しさを感じて継続して通ってくれる生徒が一定数みられるようになった。
- 高校の先生方が積極的に事業に協力してくれるようになった。(事業の周知や生徒のとりまとめ)

【課題】

- 高校との開催日程の調整
- 持続可能な活動内容の企画
- 地域の方々、講師となるスタッフの協力、支援体制の継続